

る。H I V / S T D の感染予防と治療とを一貫して行うには、包括的な体制が必要である。

#### D. 考察

本年度は、性感染症サーベイランス評価の世界的な標準を確認し、性感染症発生動向システムの現状と課題を評価するための資料を得た。広い全国状況の検討と地域限定ではあるがより詳細な検討とを組み合わせることで、効率的と考えている。性感染症と総称するものの、疾患によって特性や把握方法は異なっており、性行為による感染が主である後天性免疫不全症候群対策との調和も必要など検討課題は多い。感染から対策への流れと疾患毎の差という2つの視点を持って課題を整理することで、改善の枠組みを明確にしていくことが有用と考えている。

#### E. 結論

「S T D サーベイランスは、S T D のコントロールへの有用性というその目的を明確にした上で、H I V との関連、既存の他の調査等を活用した広い観点のサーベイランスとして評価すべきこと」という国際的な標準が明らかとなった。梅毒を例に評価した結果、梅毒コントロールへの有効活用は一般的でなく、代表性にも疑問が多く改善を検討すべきと考えられる。次年度は、本年度調査結果を踏まえた現行サーベイランスのシステム評価を行い、感染症発生動向調査によって担える部分と他から情報を補完すべき部分とを検討し、現行発生動向調査の改善の試案を作成する。中央感染症情報センター、地方感染症情報センター、関連研究担当者および関連学会学識経験者等を交えて、改善案の妥当性を検討する。

これを踏まえ、最終年度に改善案を提案する。

F. 健康危険情報 無し。

G. 研究発表 無し。

H. 知的所有権の取得状況 無し。